

2019.9.17

支 部 通 信

No 76



長野県電気工事業工業組合長野支部
合同会社 長野電気引込工事センター

目 次

				ページ
1	Top Message	支 部 長	大田 敬壹	----- 1
2	ご 挨拶	中 部 電 力 (株) 篠ノ井 営業所	林 健一	----- 3
3	地 区 だ よ り	須 高 地 区	藤澤 一彦	----- 4
		長 野 東 地 区	町田 幸司	----- 6
		中 野・飯 山 地 区	玉木 新二	----- 7
		更 埴 地 区	久保田貴律	----- 8
		長 野 西 地 区	伊東 敬晃	----- 10
4	技能オリンピック開講式			----- 11
5	フ リ ー ト ー ク	更 埴 地 区	海沼 芳美	----- 12
		長 野 西 地 区	村松 欣一	----- 13
		須 高 地 区	湯本 栄二	----- 14
		長 野 東 地 区	石川 睦生	----- 15
		中 野・飯 山 地 区	村石桂太郎	----- 16
6	詰 め 将 棋 解 答	長 野 西 地 区	千野 貴文	----- 18
7	編 集 後 記	総 務 委 員	伊藤 善宣	----- 19

(敬称略)

♪ 表紙写真 ♪

「穏やかな浅間山」 2016年12月27日撮影

第一外輪山の黒斑山くろふやまより浅間山を望む

お盆直前の8月7日、浅間山に突然小規模の噴火が発生。噴火警戒レベル3『入山規制』から、現在はレベル2の『火口周辺規制』に引き下げられた。25日に再び噴火が起こるが、天明大噴火(1873年)以後、甚大な被害が発生する噴火はない。

※関連記事は支部通信13ページに掲載されています。

写真撮影：村松 欣一 様



「令和の風鈴！」

～ 二つのオリンピック ～

支部長 大田 敬壹

やっぱり今年の夏も猛暑日が続きましたが、皆さんは「チリ～ン！」と「風鈴の音」を聞くと、なんとなく涼しさを感じませんか。ところが、これは日本人だけが獲得した感覚なのだそうです。そもそも風鈴は、お寺の屋根に吊るされている「風鐸」と呼ばれる魔よけの道具が、平安時代に庶民の間にも広がり、「風鈴」と呼ばれるようになりました。日本人は「風鈴の音」を聞くだけで、脳が、「風が吹いている」と誤解をして、涼しいと感じてしまうのだそうです。外国人は、単純に「癒される音」として聞こえるようで、涼しさを感じることはないようです。実際に、風鈴の音を聞きながら体の表面温度を測るとよく分かるそうです。

さて、平素は長野県電気工事業工業組合長野支部並びに長野電気引込工事センターの活動・運営に暖かいご指導とご理解を賜り、心から御礼を申し上げます。

今年は技能オリンピックが開かれる年にあたり、長野西地区が担当になりました。7月10日に開校式があり、連日の35度以上という猛暑日の中での練習は少し無理があるのかもしれませんが、途中で具合が悪くなる選手が出たことは、今後の検討課題なのかもしれません。それでも盆明けの中間披露会では、ますますの出来栄えに仕上がるまでになりました。少しずつ秋の気配を感じるころ、選手たちにも大会へ向けて少しずつ覚悟のようなものが芽生えてきたようです。このまま真直ぐに、さらなる「高み」を目指して走り抜けてもらいたいと思います。

また恒例の電気使用安全月間の配線診断のボランティア活動も、新聞・テレビ等で多く取り上げて頂き、それぞれの地区の役員さんのご配慮、苦勞にもより、今年も大きな成果を収めることができましたことに感謝を申し上げます。

そして、今年は「無断工事」を始めとする事故の発生を、是非、なくしましょう。車の運転と一緒に、ちょっとした見落とし、不注意が大きな事故に繋がります。現場等で、緊急の要請や不測の事態が発生したときは、とにかく中部電力さん・センターに相談しましょう。

最後になりますが、会員の皆様からは、日頃から新增設の引込工事の依頼、中部電力様からは引込線点検改修工事（劣化張替）等のご発注を頂き、また専門班様のお蔭で長野電気引込工事センターも、順調な運営ができています。改めて感謝を申し上げます。そして、今後とも、支部・センターの安定した運営に欠かせない会員の皆様の「安心と安全」の構築に向けた活動に邁進したいと考えております。

余談ですが、来年は「東京オリンピック」が開かれます。聖火リレーは3月26日に福島からスタートしますが、皆さんは「1964年の東京オリンピック」の聖火リレーが、どこからスタートしたかご存知ですか。それは沖縄でした。当時の沖縄はまだ日本

本土に復帰しておらず、反米感情をあおるとして、日本国旗を掲げることさえ禁じられていた時代でした。聖火が那覇空港に到着して、最初の聖火ランナーのトーチにその火が点火されたとき、それまで沖縄ではこんなに大勢の人が集まったのを見たことがないというほどに、空港が人々で埋め尽くされていました。そして人々が手にした日本国旗の小旗が一斉に振られ、怒涛のような歓声と、「万歳」の声が地鳴りのように響き渡ったそうです。沿道にも日本国旗を振る人々で埋め尽くされていたそうです。それは沖縄の人にとって、本土復帰への「万感」の思いが溢れ出たときでした。でも何故、日本国旗を掲げることさえ禁じられていた沖縄で、小旗を振ることができたのか？それは当時のアメリカ政府が、寛容にそれを黙認したからだったのです。

最近の敵対する国際情勢や経済情勢を見ていると、そのときの「寛容さ」が少しでもあったのなら・・・と思います。「風鈴の音」と同じように、日本人が古来より獲得してきた「寛容さ」を、来年の東京オリンピックを機に、世界中に「感動」とその「寛容さ」を響かせて欲しいものです。

「令和」、最初の夏が終わり、直ぐに秋冬の光に包まれます。やがて「春遠からず」と季節はめぐり、聖火が灯されたトーチは春風によって、日本中を駆け巡ります。そして「令和の風鈴」が世界中の人の心にも響くでしょうか。本年もよろしくお祈りします。

● 5月16日 長野支部定時総会 懇親会





ご挨拶

中部電力株式会社 電力ネットワークカンパニー

篠ノ井営業所長 林 健一

仲秋の候 会員みなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、弊社事業に格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、7月1日の人事異動によりまして、篠ノ井営業所長として着任いたしました林健一でございます。長野電気引込工事センターさまの発展のため、微力ながら尽力させていただき所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、弊社は、2020年4月の分社化を見据え、分社化後の新ブランドを決定いたしました。持株会社は、「中部電力株式会社」を今後も継承することとし、送配電事業会社および販売事業会社につきましては、「中部電力パワーグリッド株式会社」「中部電力ミライズ株式会社」といたしました。

新たなブランドでは、持株会社・各事業会社ともに、「中部電力」という社名を引き継ぎ、シンボルマークの色合いも統一しました。これは、分社化後も総力を結集して、みなさまからの期待を超えるサービスをご提供していくという思いを表したものであります。分社化により「中部電力」という会社の形は変わることになりますが、地球環境に配慮した、良質なエネルギーを、安全・安価で安定的にお届けするという使命は変わるものではありません。お客さまの暮らしやビジネス、地域にとって、今まで以上に「なくてはならない存在」となれるよう取り組んでまいりますので、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、この8月から、お客さまの利便性向上、ならびに弊社のさらなる合理的な業務運営体制を構築することを目的として、飯山・篠ノ井営業所の低圧契約業務を長野営業所へ拠点集約いたしました。これまで、みなさまには「インターネット受付」「計器宅配」をはじめ、工事情報の「電子化」など様々なことをお願いしてまいりました。いずれも導入当初は、トラブルや使いづらい点も多く大変ご迷惑をお掛けいたしました。みなさまからのご意見・ご要望をいただくことで改善を図るとともに、多大なご協力を賜りましたおかげで、北信ブロックとして、先行実施することができました。今後、全社展開に向け、さらに利便性の高いものにするため、お気づきの点がございましたら、忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、安全と健康に十分ご留意いただきますようお願い申し上げますとともに、みなさまの益々のご繁栄とご健勝をご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

地区だより



Challenge!

須高地区長 藤澤 一彦

まだまだ暑い日が続いております。熱中症には気をつけましょう。熱を下げる為には冷たい水（ペットボトル）を手に押しつけていると熱が下がるそうです。

さて、平成から令和になった本年、須高地区の地区長に就任をいたしました。新米地区長ですが当会に課せられました社会的役割を果たすべく努力してまいりる所存でございます。新体制は地区長の私・藤澤副地区長に(株)信濃電設・湯本さん。経済組織委員長に末広電気(株)・中澤さん、教育厚生委員長にヒザワ電機商会・湯本さん、総務委員長に(有)曾我電気工事・曾我さんという役員体制で事業に取り組んでまいります。また、これを機に今までに起きた重大な事故に対しまして役員一同、安全講習、昇降柱訓練、計器取付工事訓練、無断工事再発防止教育等細かく注意しながら事業を行ってまいります。

皆様には今後ともご支援ご指導の程、宜しくお願い致します。



信州高山ヒルクライムチャレンジ 2019

サイクリングスポーツ人気の高まりとともに自然豊かな高山村を訪れる自転車愛好者が年々増加していることから、更に多くのサイクリストやその家族・応援の皆様にも本村の雄大な自然や素晴らしい眺望などを楽しんでいただき、さらに、8つの温泉をはじめ、ワインや山菜など豊かな観光資源を楽しんで高山村のファンになっていただくことを目的に始めたヒルクライムは、今年で6回目となりました。YOU 遊ランドから風光明媚な上信越高原国立公園内の笠岳登山口までの、全長 20km 超、標高差 1300m の本格的コースによるヒルクライムレースを実施します。



※ちなみに、藤澤地区長は『ヒルクライムチャレンジ』実行委員会の副委員長です



長野東地区

国宝善光寺の電気設備の点検と清掃活動 必要とされる電気業界に

長野東地区長 町田 幸司

日頃は、地区の運営にご協力をいただきありがとうございます。

令和元年度を迎え、我々電気業界を取り巻く環境は新たな変化を見せていると感じます。当地区においても昨年より地区事業に新たな改革・変更を何点か行いました。本年度も新たな取り組みを計画している中、不変で恒例の奉仕活動である2019年令和元年度の電気使用安全月間に伴い長野西・東地区合同にて善光寺の本堂をはじめ境内の電気設備の点検・高所作業車による外灯の清掃を心を込めて丁寧に行いました。今年はあいにく雨の中の作業になりましたが、中部電力(株)長野営業所様・中部電気保安協会長野営業所様の協力のもと、総勢28名による奉仕活動が無事終了したことに、心から感謝申し上げます。

活動テーマ

「日頃から電気の安全を心がけ、賢く上手に使おう」

「地震・雷・風水害などの自然災害に伴う電気災害に注意しましょう」

のもと、参加者全員が気持ち良い汗を流し感謝を込め作業に取り組めたと思います。

長野は全国的にも自然災害が少ない土地柄になりますが、電気災害となるとまた異なります。我々が日頃より電気設備の診断・点検を真剣に行い電気による災害を減らすた

ために、社会から必要とされる業界になれるよう活動を広めていければと考えます。

善光寺は国宝の為、特別の許可をいただき、活動にも規制がありますが、絶対の信頼をおいていただける様に来年以降も感謝の気持ちを持って活動していきたいと思っています。

地区組合員の皆様も令和元年後半戦も安全に宜しくお願い致します。





高齢者配線診断

中野・飯山地区長 玉木 新二

今年度は、中野・飯山地区の高齢者配線診断については、山ノ内地区で活動を継続しています。8月28日に毎年恒例の一人暮らしのお年寄りのお宅の電気設備の点検と診断を行いました。毎年、電気使用安全月間の時期に地区役員の対応で行っているボランティア事業です。今年は山ノ内地区内の土橋、下須賀川地区 17世帯を対象に各地区民生委員さん、中部電力飯山営業所の配電課、中部電気保安協会中野営業所、役員で1班4名に分かれて各戸を訪問、診断を実施しました。当日は、雨が心配されましたが、そんなに熱くもならず事業が遂行できました。今回伺ったお宅の中に





は、配線の老朽化と漏電ブレーカーがついていない家が何軒もありました。危険性をお客様に説明し納得をいただいて、その場で修理できる所は極力交換をしました。漏電ブレーカーが作動した時の応急処置の仕方など説明し役立て下さいと指導しました。また、古いお宅はコンセントが少なくタコ足配線があり、コンセント増設するよう指導をしました。対象者からの意見は普段から、1人暮らしなので電気の事はよくわからないので点検していただいて安心しました。「大丈夫です」の声にありがとうございますと感謝されました。

火事や事故の起きないように

電気を快適に安全に使っていただきたい。不安や困ったことがあったら、相談してほしい。来年は、飯山地区を実施したいと思っています。この活動をしていながら行政の皆様理解をしていただきたいと思います。

最後に会員の皆様に、これからも地区活動にご理解とご協力をお願いします。

新体制

更埴地区長 久保田 貴律

4月に更埴地区定時総会が行われ、更埴地区地区長に選任されました久保田貴律です。今回タイミングよく、地区だよりの執筆依頼がきましたので、併せてご挨拶させていただきたいと思います。更埴地区では、4年間総務委員長、2年間副地区長を担当させていただき今年度地区長の大役を仰せつかりました。会員の皆様方のご協力、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

また、今年度は更埴地区の役員も大幅に変更になり、新体制では「地





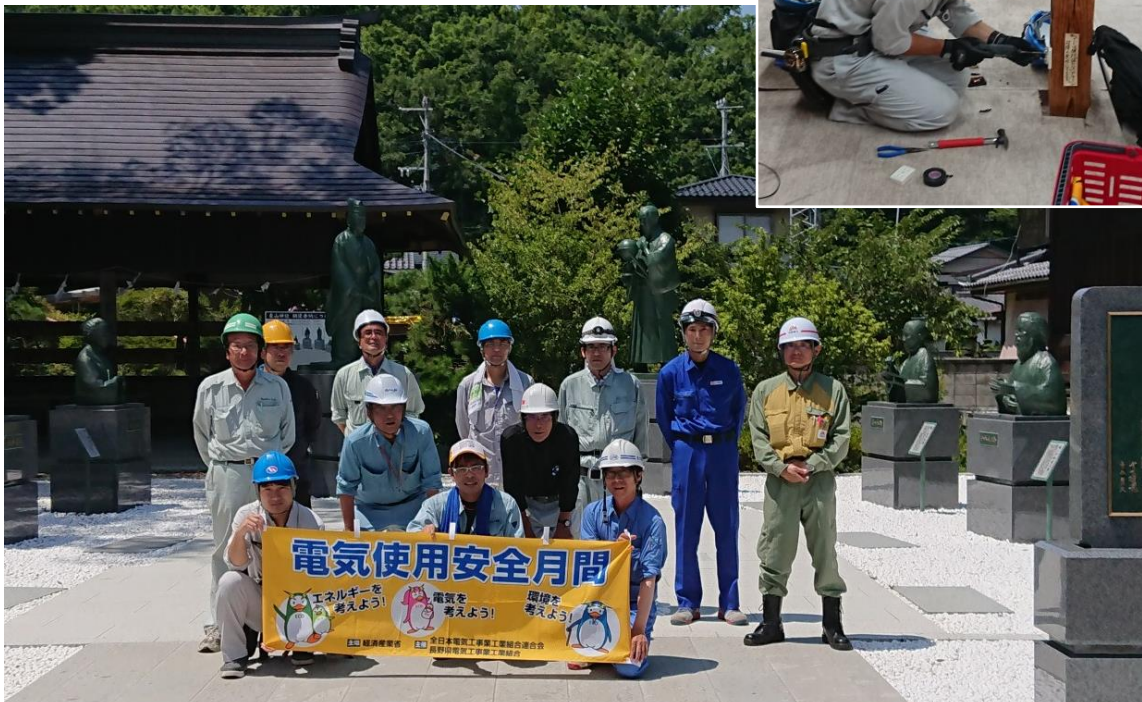
区事業は団結し、楽しく!!」とスタートすることとなりました。ですが新年度スタートし4カ月、とにかく忙しかったです。4月の耐圧試験、5月の定例会、技能確認訓練、8月の電気使用安全月間の配線診断と大きな地区事業が続きましたが、無事に行う事が出来ました。

5月の技能確認訓練では、2日間で93名の受講者がありました。訓練では、基本事項の再確認に重点を

置き行いました。2日間と限られた時間の中での訓練でしたので、課題等も見つけ次回への改善点もあったと思います。

8月6日には、電気使用安全月間での事業として文化財の配線診断を行いました。今回は、幕末の藩士佐久間象山を祀る松代町の象山神社を行いました。当日は気温36℃という猛暑の中、象山神社内外の電気設備の点検、清掃、引込点の点検等を汗だくになりながら行いました。協力していただいた会員様、中部電力様、御苦労様でした。

まだ始まったばかりの“新・更埴地区”ですが、時代も平成から令和に変わり、更埴地区も変えられるところは変え、変化していきたいと思っています。今後も皆様の御協力をよろしくお願いいたします。



象山神社にて



長野西地区

第36回 引込および内線工事 『技能オリンピック長野県大会』について

長野西地区長 伊東 敬晃

残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

「第36回引込及び内線工事技能オリンピック長野県大会」が9月19日に中部電力株式会社電力NWCP吉田訓練所で開催されます。この『支部通信』が発行され皆様のお手元に届いている頃には、大会も終わり結果が白日の下になっているかと思いますが、原稿を書いている今は、第1回技能披露会が終わり残りの1カ月、修正と追い込みをかけるところでございます。さて・・・結果は如何に？

当地区から選手を選出するには大変難儀を致しましたが、株式会社旭電気商会・平坂健さん、株式会社町田電機商会・松下翔平さん、不二電工株式会社・小林克也さん、に出場していただきました。7月10日に電気会館にて開講式を行い、7月16日から須坂訓練所にて訓練を開始しました。7月中は週2回の実技訓練と週1回の学科訓練を行い、7月末からは実技訓練を週3回実施しましたが、連日の35℃を超える猛暑(酷暑)で熱中症が心配されるなか、なかなか訓練が捗りませんでした。それでも、当初は先が思いやられましたが、前回出場した更埴地区の選手に訓練をみてもらってアドバイスを得たり、前回のビデオを見てマネをしていくうちに、日に日に上達してきたように思います。もちろん、毎日熱心に指導してくださった中部電力の講師の方々、内線の指導と後方支援をくださった役員の皆様のおかげであることは、言うまでもありません。毎日暑い中、本当にありがとうございました。そして、3名の選手の皆さんお疲れさまでした。今、結果がどうなるのかはわかりませんが、どんな結果になっても構いません。開講式のあいさつで話しましたが、3人で協力し、全力で取り組み、後悔なく、笑顔で終わることができれば、何も言うことはありません。この先、電気屋人生の良い思い出となってくれば、幸いです。ご健康とご活躍を祈ります。最後になりましたが、貴重



な戦力を2か月間も貸していただいた店主の皆様に御礼申し上げます。もしも、連合会大会出場が決まった暁には、11月7日まで引き続き宜しくお願い致します。

お盆が過ぎ、連日の暑さが嘘のように過ぎやすくなってきましたが、これからの季節は台風等の災害が心配されます。ご健康にはくれぐれもお気を付けください。

技能オリンピック開講式

七月十日
長野電気会館に於いて開催



出場選手 (向かって左から)

- ・平坂 健さん 31歳 (株)旭電気商会
- ・松下翔平さん 28歳 (株)町田電機商会
- ・小林克也さん 25歳 不二電工(株)



中部電力株式会社
長野営業所 和田所長

選手選出には困難
を極め…涙

…疲れた

有能な長野営業所講師陣





休日と釣り

更埴地区 海沼 芳美 (有限会社海沼電業所)

皆さんは世界最大のブラックバスが琵琶湖で釣れている事をご存じですか？ 73.5 cm、10.12 kgのブラックバスが国内で釣れているのです。たくさん数を釣るのも楽しい釣りですが、大きな魚を釣るのも釣りの楽しさでもあります。

国内で世界記録を狙えるというのは何とも夢がある話です。しかし、いつも行く釣り場は世界記録を狙えるような場所ではなく、自然の中でゆっくり釣りを楽しんでいます。最近では、いつもの釣り場より少し足を延ばして希望湖に行ってきました。

斑尾高原にある希望湖は標高 850mにあり、周囲を白樺やブナの原生林に囲まれた静かで美しい湖で、釣りの他にトレッキング等が楽しめる湖です。希望湖は県外からの釣り人も多く人気の湖で、かなりの釣り人が来ていました。そんな中 1 日釣りとお自然を満喫してきました。世界記録級のブラックバスは釣れませんでした。有意義な休日を過ごす事ができました。



浅間山 プロジェクトX

長野西地区 村松 欣一 (株式会社アイネット)

今月に入り2回噴火をした浅間山(2,568m)。皆様も新聞やテレビ等で、ご覧いただいていると思います。その映像を撮影しているカメラが設置されている場所は、浅間山の第一外輪山の最高峰である標高2,404mの黒斑山(くろふやま)です。



現地登山 2016年9月1日

3年前の今頃、この黒斑山に基地局用の電源とアンテナ柱を設置する工事のために登りました。山頂まで2時間歩かなければなりません。「山頂に着いた後仕事をするなんて無理ですよ。」と皆に苦情を言われ、ドラえもののひみつ道具、タケコプターがあればどんなに楽だろうと思うばかりでした。皆様には、「結果より記憶に残る仕事をしよう。君しかこの仕事は出来ない。」と褒め称え激励し、協力していただきました。

ヘリコプターによる資材の運搬は尾根への荷下ろしがピンポイント作業になり、天気が悪いと飛べません。『今日は天気もいいし絶対大丈夫。でもヘリが来ない・・・なぜ?』理由は、浅間山麓での自衛隊訓練による飛行中止でした。幾度も空振りになり山頂で待機していただいた方は疲労困憊でしたが、無事施工することができました。

今回のプロジェクトは、御嶽山の噴火により尊い生命が失われたことに起因しております。この工事により携帯電話の不感地域を解消し、緊急時に登山者との通話が可能になりました。

浅間山はいつ噴火するのか不明です。今年も設備の点検作業のため社員が黒斑山に登りました。噴火前日の8月6日です。今回は幸い噴火に合わずに済みましたが、自然の法則や力には逆らえないと改めて考えさせられました。いつ発生するかわからない自然災害の怖さを実感し、今できることの備えをしていかなければならないと思います。

ヘリによる運搬作業 2016年11月3日



須坂市総合 防災訓練

須高地区 湯本栄二 (株式会社信濃電設)



8月25日、須坂市総合防災訓練に地区会員11名で参加しました。当日は天候にも恵まれ、開催場所である須坂市立相森中学校にて予定通り行われました。

訓練には、避難所設置、炊き出し、応急救護、倒壊建物救助、時流(ペットブーム)に沿ったペット同行避難訓練等々多種多様が

あり、私共(須高地区会員)はその中の仮電源確保訓練を行いました。仮電源確保訓練とは、仮の電源を使い電気を送る訓練です。災害時の停電を予想し行った訓練では、電気を必要とする場所に照明及びコンセントを設置し、仮の電源となる発電機を使い送電する作業です。

訓練では簡単に進められる作業ですが、実際に災害が発生し、その現状を目の当たりにした時、復旧作業を冷静に行い、そして迅速に行動することが果たして出来るのだろうかとの自問に、災害を予想しながらの訓練ではありますが、様々な障害等をある程度想定しながらする訓練は

「緊張感を持って冷静に行う」
 「迅速に正確に行動する」
 「思考力を身につける事」
 の大切さを学べる場だと思います。

ここ数年、気象状況の変化(異常気象と言われているようです。)により引き起こされる自然災害が多く、テレビで流れているのをよく目にしますが、日本だけではなく世界中で起きていること、現



状いつどこで起きてもおかしくないこの時だからこそ、事前の訓練は、市民の皆様にとっての安心・安全にも繋がる事なので、この訓練の必要性和重要性を改めて感じました。



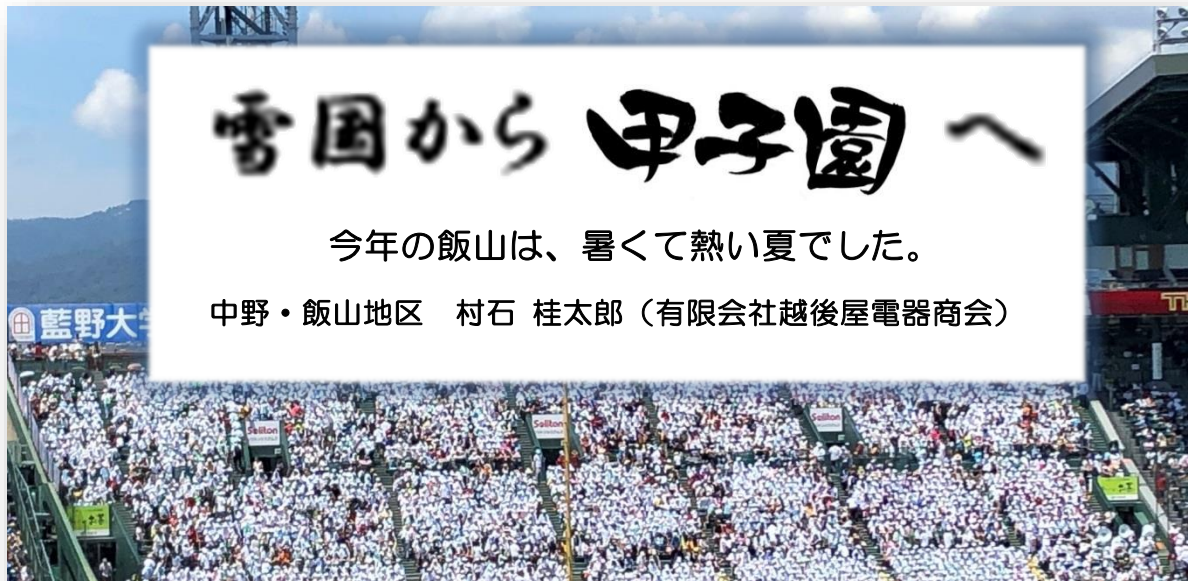
長野東地区 石川 睦生
(株式会社石川電気)

長野西地区と東地区では合同のゴルフコンペを年2回行っています。毎回大勢の方が参加しますが、今春の長野京急カントリークラブで行われたコンペでも、会員のメンバー以外にも中部電力様・中部電気保安協会様・電気メーカー様・電気材料問屋様の合計34名で盛大に開催することができました。

スタート前の開会式の挨拶の時から盛り上がり、天候にも恵まれ、楽しく交流しながら無事故で行われました。私も上位を目指して頑張りましたが、いつもどおりの結果に終わりました。懇親会と成績発表は権堂で行いました。幹事さんは、全員が楽

しめる雰囲気作りをされる素晴らし進行で、大変盛り上がり、とても良い親睦を深める事ができました。

近年世の中はすっかりIT社会になり、電力関係の申請も紙ベースから全て電子申請になり、顔を見て話す機会が減りました。便利になった反面、寂しくも思います。こういう時代だからこそ、親睦を深められるこの機会が大切になってくると思います。このような機会を設けて頂いてることは、組合という組織の力を感じます。また、陰で運営してくださる方がいることに感謝して、これからも楽しみに参加させてもらいたいと思います。



7月13日、3回戦第2シードの都市大塩尻を4対2で勝ち、「飯山高校やるな」と思っていたところ、上田に11対0コールド勝ち、準々決勝岡谷南に6対0で勝利、久しぶりのベスト4「まさか？まさか！」。反対の山では、佐久長聖、松商が敗退。「ほんとに甲子園？でも無理でしょ？」。友人の飯山市の部長から、「準決勝は学校で応援バスを出すのかな？」とメールが入り、学校に聞きに行ったら応援の生徒の分7台しかバスは出ないとの事。生徒も2,000円しっかり徴収されるとの事。「飯山市で無料応援バス出せば？」とメールを返したら、その数時間後「無料応援バス3台を出します！」と防災無線で流れた。市も久しぶりに良い対応をしたなと感心した。周りの人の会話も「もしかしたら甲子園？」「相手は強いぞ～」と高校野球の話一色。7月20日は準決勝は私立の強豪、上田西戦。相手がエースを温存している間に、またもやきっちり先制し3対0で勝利。「おいおい、まさかのまさかか？」「甲子園へ行くようになればどうしましょう？」

7月21日、いよいよ決勝の伊那弥生が丘戦、飯山市も無料バスを5台に増便、私は残念ながら地元のお祭りで松本までは行けず、テレビの前で観戦。初回また先制、5回終了4対1「これはすごい事が起きそうだぞ！」しかし6回に同点にされ、その後は劣勢。「夢だったか？夢で終わらせたくない！」隣で観戦している友人も「もうドキドキだよ」試合は延長に入り、10回裏サヨナラのチャンスに、来年のエース常田君がピッチャーの足元を抜くセンター前ヒットでサヨナラ勝利「やった甲子園だ！！」「甲子園なんて嘘でしょ？」次の日から【祝甲子園出場飯山高校】の朝日新聞や商工会議所が作ったポスターが配られたり、学校、市役所、各企業の横断幕・懸垂幕が掛かり、飯山市内県大会優勝、甲子園出場の祝福・激励の一色になりました。

私も2012年に飯山北高PTA会長をしていたので、学校から実行委員会で募金の係の長をお願いされ、飯山北高、飯山高校歴代PTA会長20名で、企業や知り合いに募金のお願いをして回りました。甲子園初戦の8月9日まで短期間でしたが、目標1億円をはるかに超える1億数千万が集まりました。3校統合で新飯山高校となったので

すが、明治39年飯山中学開校から110余年に渡り数多くの卒業生を輩出してきた伝統が募金の数字に表れていると感心しました。

甲子園では応援バスが70台、個人でJRや自動車で行った人合わせて、4,000人を超える大応援団が1塁側アルプススタンド、外野席で応援をしました。私も応援バスに乗り、0泊2日の強行軍で応援に行きましたが、帰ってきて「テレビに映った真っ白なアルプススタンドの大応援団が凄かった」と聞いてとても感動しました。

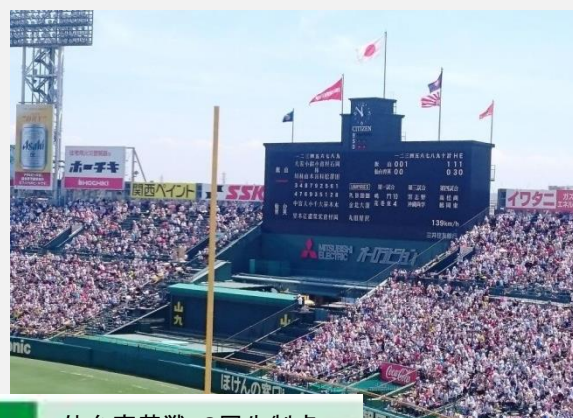
最後に20代のころから30年近く合っていない東京に住む高校の友人と、甲子園の入口で待合い、一緒に応援をし、そのまま別れて帰って来たのですが、後日送られてきたメールに書いてありました。「こんなに楽しくて、ワクワクして、はしゃいだ夏は何十年ぶりだろうか！いい夢を見せてもらった。ありがとう後輩たちよ、誇りに思います」



県大会優勝後の報告



パブリックビューイング
in なちゆら



仙台育英戦 3回先制点



詰め将棋解答

長野西地区 千野 貴文
(株式会社旭電気商会)

5手詰め



前回の支部通信第七十五号の十一ページに掲載された詰め将棋の解答を載せてほしいと、組合員さんから希望が寄せられました。そこで今回、千野さんによる解説を掲載します。

【答え】

3二飛、同馬、2二角成、同玉、3四桂、まで5手詰。

【解説】

初手の3二飛に2二合駒は、同角成で早詰め。
3手目の2二角成が気付きにくい手で、
香と馬の両王手のため、玉で馬を取るよりない。
5手目に3四桂の吊し桂でトドメとなる。
実戦的な駒の配置で短手数なのに幻惑させられてしまう。大山康晴十五世名人の偉大さを感じる作品です。





9月6日 総務委員会 長野電気会館に於いて

編集後記

5月に元号が「令和」に変わり4ヶ月余り、それ以降主立った行事・記録等、「令和初」の文字が新聞・テレビなどで多く見られるようになりました。支部通信も「令和初」で、第76号を発刊する事となりました。

気候は、ここ数年異常なほど雨・風・気温が猛威を振るい、電気業界は耐震・LED化・太陽光発電と景気の波が押し寄せ経営状況は右肩上がりに良い決算を迎えていると思いますが、後世に残す「令和」の年を業界皆、和をもって造り上げていければ良いと思っています。

お盆明け、いくらか涼しくはなってきましたが、体調を整えお仕事に励んで下さいます様お祈り申し上げます。

総務委員担当副支部長 伊藤 善宣

編集

担当副支部長 伊藤 善宣
総務委員長 町田 幸司
総務副委員長 久保田貴律

総務委員 日極 量博
村石桂太郎
(事務局 倉嶋)

「見える化」と「機器の自動制御」による省エネ

HEMS

お客様にご満足いただける
より安心安全な環境づくりを
お手伝いします



大沢電機株式会社
昭和電機産業株式会社
株式会社デンセン
株式会社ニッセー電機

(五十音順)



ながの電材会